

ひとを育てる活動

現地パートナーとともに支援するビラン、千ボリ、マノボ、ムスリム等、各民族の子どものページです

健康グッズで、新年度も元気に頑張ります！

クリスマスプレゼントは歯ブラシ・石鹸・タオルでした



前88号に間に合わなかったSCMSIからのクリスマス報告が届きました。(写真:ラヒット小)

随時、会員、市民からいただくホテル名入り未使用歯ブラシは、毎回、現地訪問時に持参していますが、数に限りがあり、辺境の小規模校が対象となってきました。

暮れにいただいた皆様のクリスマス寄付でSCMSIの児童にも歯ブラシセットが届きました。

ご協力ありがとうございました。

ジュニアハイスクール修了生 シャーキー
ハイスクール教師を目指し、SCMSI校からの転出を選択



ハイスクール10年生を修了の里子シャーキーと両親

(左端:ガンダム学長)

里親への今までの感謝と継続依頼の手紙(抄訳)

小学生からこの度のジュニアハイスクール修了の日まで、里子として支えていただきありがとうございます。兄3人の学費負担で精一杯だった父母は、私の授業料等を支援下さった里親に大変感謝しております。将来、私はハイスクールの教師になりたいと思っていますが、カレッジの中等教育科に進む上で必要なHumanities on Social ScienceコースがSCMSIのシニアハイスクールにないため、やむなく、スルタンクダラト大学付属シニアハイスクール進学を決めました。これまでも、ご支援に応えるため学業や学校の内外の活動を頑張ってきました。これからもベストを尽くします。引き続きご支援いただけたら嬉しいです。

ジェニーの選択

セブ島の総合大学医学部か、ダバオの医大か

前号で、医大進学に必要な全国統一試験 NMAT に向けて準備中とお知らせしたカレッジ奨学生ジェニーについて、4月初めに無事合格の報告が届きました。

次は受験する医大の選択です。セブ島にある総合大学の医学部とミンダナオ島ダバオ市の医科大学(いずれも私立)の学費他の比較がCMIP事務局より届きました。セブの大学は年間25万ペソ(約57万円)で、ダバオ医大の36万ペソ(約82万円)より安く、一方、アパート代他の生活費はセブ島の方が割高になります。

ジェニーはGFIカレッジ会計学専攻2年進級時に、CMIPディレクター・エドイン神父から医師を目指すよう勧められ、ノートルダム大学の生物科に入り直したので計5年間カレッジに在籍し、すでに高額の奨学金支援を受けています。医学部入学後は、最小限の経費で最高の学力・実力をつけるため、今まで以上に頑張りたいと思います。継続して奨学金支援を約束くださっている会員のご意向も伺い、近いうちに大学を決める予定です。なお、医師国家試験合格率はダバオの方が高く、92%ということです。

ノートルダム大学・生物学科を3月卒業のジェニー・マガリン。父親のマリオさん(CMIPラムアフス小学校教師)母親、妹と。



JOFPA 基金奨学生ゴルディマリーの報告

今は3月、後期も間もなく終わります。ここ4か月ほどの報告をさせていただきます。この時期は妊産婦や子どもの看護を中心に、これまでに学んだことを病院で応用する実習の授業に参加しています。



ジェネラルサントスの病院へは、毎週木曜の夕方までに入り、宿泊。実習は、金曜と土曜の朝6時から午後3時半までです。病院実習の最終日は3月30日で、4月10日には夏期講習が始まります。看護の仕事はとても疲れますが充実感は得られます。一歩外に出ると私たちの助けを必要とする人が一杯いることに気付きます。「看護師は単なる仕事でなく生きることそのもの」という言葉がよくわかります。

今年も上記2名を含めて、里子や奨学生合計25名が、小学校、ジュニアハイスクール、カレッジをそれぞれ巣立ちました。長期に渡るご支援ありがとうございました。感謝の手紙や写真はそれぞれ会報に同封してお届けいたします